

今月の重点活動

■だいこん スマート農業技術を活用してうね立て実演

4月18日、郡上市高鷲地域のだいこん生産ほ場で、農業法人、農機メーカーや関係者を集めてスマート農業技術の実演会を開催した。

今回は、だいこん栽培において熟練の技術を要するうね立て作業を、ガイダンスシステムと自動操舵システムを用いて実演した。

通常のうね立て作業は、ほ場の形状に合わせて直進することが難しく、経験のある農家でも技術と集中力を要する作業であるが、ガイダンスシステムと自動操舵により容易にまっすぐできれいなうねを立てることができた。

実演において65馬力のトラクタに乗った20代女性従業員は、「思ったより設定操作が簡単だった。私でもうね立てできそうです」と好感触を得たようであった。

農業普及課では、今後も実演・実証を通じて、だいこん栽培に適したスマート農業技術の導入支援を行っていく。



【実演の様子】

多様な担い手づくり

■地産地消 郡上市青空市場連合が栽培講習会を開催

郡上市内の農産物直売所で組織する郡上市青空市場連合では、夏野菜の作付けを前にした4月24日に第1回栽培講習会を開催した。当日は直売所出荷者等16名の出席があり、農業普及課からは良食味米づくりに向けた栽培技術と農薬の適正使用などについて説明を行った。また関係保健所郡上センターから有毒植物の出荷防止について、郡上市農業アドバイザーから野菜の栽培方法について併せて説明がなされた。

出席者らは、直売所出荷に適した野菜の品種選定や山菜への有毒植物混入防止についての情報交換を行い、活発な講習会となった。

今後も、農業普及課は関係機関と連携しながら、地産地消の拡大に向けて支援を続けてゆく。



【栽培講習会の様子】

売れるブランドづくり

■夏秋トマト 平成31年度全体研修会を開催

郡上地域のトマト生産は気象災害の影響を受けやすく、生産者の単収格差も拡大しているため、低単収者の収量向上等により、産地全体として収量を上げることが求められている。郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では毎年4月に全体研修会を開催し、栽培上の要点やその年に取り組む内容を確認している。

今年4月18日に開催された研修会において、農業普及課では栽培面積別の売上や単収を示し、栽培面積に見合う売上ができていないことから、栽培面積別に取り組む内容を提案した。また、講師として招いた農業経営課飛騨市駐在の農業革新支援専門員からは天候不順に対応したトマトづくりとして、摘果、追肥、かん水等の項目や灰色かび病、ハウス間の排水対策について説明を受けた。

今回の研修には郡上トマトの学校の研修生も参加した。今年度より研修を開始する研修生は自己紹介と共にトマト栽培にかける思いを発表した。



【自己紹介をするトマトの学校研修生】